



開田小学校だより

令和8年 3月 2日（月）文責：草間隆志



学校HPも
のぞいてください

2月20日 開田科発表会

1・2年	開田高原のみんなとっしょ！
3・4年	開田を楽しませ隊
5年	一年入魂 ～5年お米魂～
6年	劇場版「ミッション開田」

毎年、開田小学校では、特色ある学校教育活動として、地域の教育力を活用して郷土愛を育む教育実践「開田科」の学習を行っています。子どもたちは一年をかけて、ふるさとの材（人、もの、こと）との出会いや体験を通して、感じ、考え、自らの問いを解決してきました。開田科発表会は、その成果を発信する場です。

今年度は、各学年が左の表のようなテーマで発表する予定でした。しかし、インフルエンザの大流行により、各学年ともに内容や担当を大きく変更せざるを得

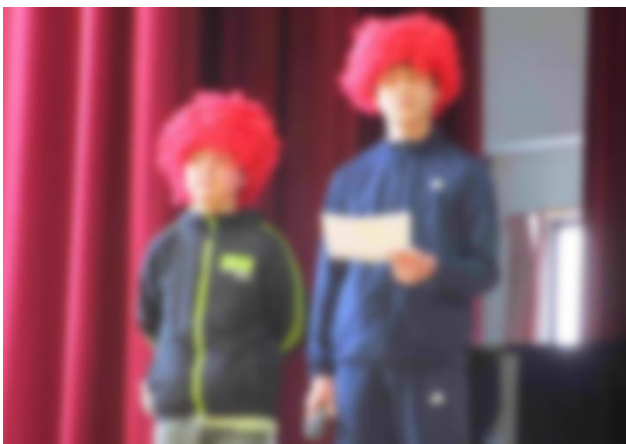
ない状況となり、その対応に追われました。そのような中でも、子どもたちは、お休みした級友の思いも込めて、堂々と発表することができました。



予定していた寸劇ができなかったため、急遽季節ごとに作った折り紙作品を発表した1・2年生。色合いがとてもきれいでした。



3人での発表となった5年生。お米づくりで大変だったことや思い出深かったことなどをクイズ形式で振り返っていました。



アフロ姿で登場した6年生。CM大賞への応募、わさび作り、美化活動など、開田高原に住む自分たちだからこそ「ミッション」を完遂しました。



興味をもった開田高原の各所に自分たちでアポをとり、取材活動を行ってきた3・4年生。新たな発見がたくさんあり、取材力が光りました。

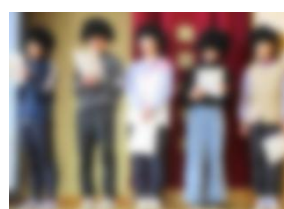
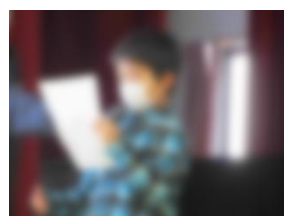
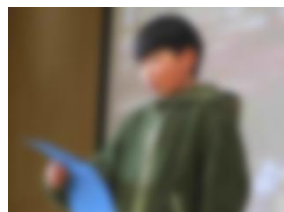
〔開田科発表会の感想〕

皆さん、しっかりとまとめられていて、普段気にしていなかったことに気付くことができました。自分たちが経験することで良いところに気付く、とても良いことだと思います。今後も、いろんなテーマを見つけて続けていってほしいと思います。(地域の方より)

全体的に開田愛に溢れていて素晴らしかった。ここまでの教員のご苦勞が垣間見れたので、地域住民がさらに協力し、子ども達と一緒に育てることが大切だと感じました。(地域の方より)

欠席者も多く、練習も時間が少ない中、先生と児童でできる限りの準備をして臨んでくれたことがよく分かりました。とても良かったです。特に6年生は、これまでの開田科発表で一番のびのびとしていました。とても生き生きしていました。普段の子供たちと先生の楽しい様子がありのまま表現された発表でした。最後の発表で、あのような姿を見ることができたこと、とてもとても嬉しく思います。(保護者より)

私達の頃は、開田高原といえば御嶽山、木曾馬、そばでした。今は、ラボやアイスクリーム工場、コーヒー屋さん時代の流れを感じました。今日は人数が更に少なくなつての発表でしたが友達の分も助け合っているその姿勢がとても良い発表に繋がっていたと思います。それぞれ学年の担任の先生の味も出ていたように思いました。最後まで見ることできて、とても嬉しい時間でした。ありがとうございました。(保護者より)



命をみつめる月間

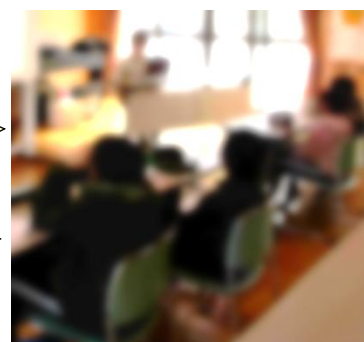
2月は、「命をみつめる月間」でした。2月2日には、助産師の先生をお招きして、高学年を対象に性に関する授業を行っていただきました。授業テーマは次のとおりです。

4年生	大切なところと体 ～大きくなってきた私のからだ、友だちとの関わり～
5年生	生命の誕生 ～生まれて今ここにいること～
6年生	大人に近づく体と心 ～二次性徴の振り返り、心の発達、体の自己決定権と同意～

子どもたちは、真剣にお話を聞き、自分の心・体と向き合っていました。

自分の体のことが知れてうれしかったし、これから自分の体がどのように変化するのか知れてよかったです。(4年女子)

赤ちゃんが、針の穴をあけた大きさから10ヶ月ですいかの重さ(約3kg)にまで成長することに、改めて「命の力はすごいなあ。」と感じました。(5年女子)



2月10日 スキー教室

土日に雪が積もり、当日の朝方には気温が-15℃まで下がって雪が締まりました。午前中は、雲一つない快晴で、御嶽山はもちろん、乗鞍岳や白山連峰まではっきりと見えました。スキースクールの方からは、「今シーズン一番のグレンデコンディションです。」とお墨付きをいただきました。

子どもたちは、思う存分スキーを楽しみ、技能を向上させることができました。



Cコースは、上からでは下が全く見えないような急な坂で、私は心の中で「やばい、怖い。」と、ずっと思っていました。案の定、すっ転んでしまいました。でも、それからは、一度も転ばずに行けました。この経験ができたのは、皆さんのおかげなので、感謝したいです。(6年女子)



コーチは、「みんな思っていたよりも滑れているね。」とびっくりしていました。今まで行ったことのないスカイコース(頂上)にも行くことができました。思っていたよりももっと高かったけれど、ちゃんと滑ることができて、上達した実感がわきました。(5年女子)

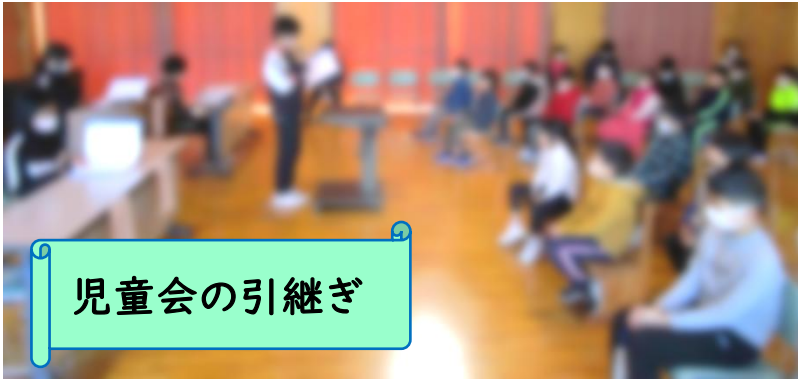
まず、頂上に行きました。滑ると、「スキーって最高だな。」と思いました。練習では、体を地面に向けたたり体を出したりする練習をしました。午前の部が終わり、お昼にカレーを食べました。おいしすぎて、3杯も食べました。(4年男子)



(1年女子 絵日記より)

最初は感覚がつかめなかったけど、後からうまく滑れるようになりました。2年生のときは、リフトから降りるときにあまり滑ることができなかったけど、3年生になってそれができるようになり、自分でもすごいと思いました。(3年男子)

リフトから降りると、御嶽山が見えました。御嶽山がかき氷に見えました。次は、リフトに乗りました。リフトはジェットコースターに見えました。(2年男子)



児童会の引継ぎ

1月30日(金)に立会演説会と選挙が行われ、来年度の児童会長が決まりました。2月12日(木)には児童総会があり、「たのしい 思いやり」をスローガンに掲げて日々活動してきた6年生が今年度の児童会活動を締めくくりました。バトンを受け取った5年生の新児童会長からは、「全校みんなの意見を取り

入れながら、スムーズに会を進めていきたい。」と、決意表明がありました。

校長先生からは、児童総会を振り返って、「一人ひとりの意気込みが感じられて、嬉しく、頼もしく思いました。少人数の学校だからこそその一人の存在の大きさを感じる児童総会でした。」とお言葉をいただきました。

開田小児童会組織は、令和6年度に4つの委員会が3つになりました。来年度はついに2つの委員会での運営が始まります。新児童会には、伝統を引き継ぎつつも新たな挑戦をしていってほしいと思います。